

## 第 21 回宇和島市子ども・子育て会議議事録

### 開催日時

令和元年 11 月 29 日(金) 13:30~14:40

### 開催場所

宇和島市役所 304 会議室

### 出席者

(委員)

高瀬委員・今西委員・宮本委員・佐々木委員・鹿島委員・渡部委員・廣瀬委員  
吉川委員

(行政関係)

教育委員会

教育総務課 西川課長・学校教育課 西田課長・生涯学習課 内升課長補佐

(事務局)

保健福祉部

岡田保健福祉部長

福祉課 伊手課長・富永課長補佐・大江児童福祉係長

酒井子育て支援係長・福本主任(子育て支援係)

株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所 五百木氏

### 議 事

第 2 期宇和島市子ども・子育て支援事業計画素案について

- (1) 量の見込みに対する確保方策について
- (2) 基本目標に基づく施策展開について

### 会議経過

#### 1 開 会

定足数の確認

第 20 回会議録の確認

#### 2 議 事

第 2 期宇和島市子ども・子育て支援事業計画素案について

(1) 量の見込みに対する確保方策について

(資料「第 2 期子ども・子育て支援事業計画(素案)」P34~43 説明者：福本主任)

※「幼児期の教育・保育事業」、「地域子ども支援事業」にある各事業について、今後の見込みと確保方策を示し、すべての事業において供給量を確保していく方針を示し、内容について意見聴取を行った。

[質疑応答・意見]

- 委員：放課後児童健全育成事業についてだが、これは宇和島市内全体の人数か。これはどうやって調べたものなのか。
- 事務局：これは、現在の利用者数に、児童減少率など一定の係数を掛け合わせた見込みの数値である。
- 委員：すごく少ない印象を受けた。津島の岩松小にも岩松幼稚園内に放課後児童クラブがあるが、利用できない子たちが、放課後の長時間にわたり、公民館の図書室にいる状況にある。この利用できない児童というのが、小学校1年の入学時に申し込みはしなかったが、その後、保護者の就労等が要因で、放課後児童クラブの利用を希望した子たちである。現在の受け入れ可能数では足りず、放課後や夏休みの行き場がない子たちがいることを確認のうえ、岩松幼稚園内では明らかに足りないので、学校の空き教室等を利用するなどして、供給量を増やしてほしいと思う。
- 事務局：現在の状況では不足していると認識している。現状を把握のうえ、必要な量を確保するための整備を行っていく予定である。
- 委員：具体的な計画はあるのか。
- 事務局：現在のところはないが、今後、この事業計画において、放課後を安全に過ごす居場所づくりというテーマに沿い、計画的に整備していく必要があると考えており、教育委員会が所管する放課後子ども教室の状況も踏まえながら、教育委員会と連携し一体的に整備していくべきだと考えている。増設にあたっては、人材確保も課題となる。
- 委員：結構前から分かっていたことだと思う。前年のこの会議でも意見があった。小学校の空き教室のほか、建て替え中の津島支所や、閉園予定の清満幼稚園、商店街の空き店舗なども利用の検討はないのか。
- 事務局：具体的な回答は現段階ではできないが、市有地の有効活用を図りながら子どもの居場所づくりの検討を行っていこうと考えている。
- 委員：具体的にいつ頃に整備予定かも決まっていないのか。今、必要な人たちが必要な時期に利用できなくなってしまう恐れがある。
- 事務局：委員意見のとおりであるので、さまざまな事情を総合的に勘案しながら、なるべく早急に整備を進めたいと考えている。
- 副会長：放課後児童クラブに携わる職員は、以前はすべて無資格者でも良かったが、国の基準が変わり、たとえ小学校教諭や幼稚園教諭の免許を持っていたとしても、別に放課後児童クラブ支援員の研修を受けた資格取得者を1名配置しなくてはならない仕組みができた。施設を増やそうとしても、職員配置基準の課題があり、状況が追いつかないといった現状があることが、この事業の妨げになっていると考えられる。しかしながら、低学年が途中から入部できない状況について深刻な課題と受け止めなくてはならず、早急な整備が求められていると思うので、今、放課後児童クラブの整備が注目されてきた中、今後のニーズに応じた整備に期待したいと思う。
- 事務局：先ほどの、放課後児童クラブに入れなくて図書室で過ごしているような児童の状況、いわゆる見えていなかったニーズも把握し、総ニーズに対し

て不足する部分を補うためのハード、ソフト整備の両面について、前向きに取り組んでいきたい。

会 長：数字上は、待機ゼロとなっているが、これは市全体としてみた数値である。委員から意見が提出されたように、一部地域では供給量が不足している事業があると見受けられるので、今後、この計画を進めていくうえでは、地域の状況に応じた対応を検討しながら実施していくということで良いか。

事 務 局：お見込のとおりである。

## (2) 基本目標に基づく施策展開について

(資料「第2期子ども・子育て支援事業計画(素案)」P31～63 説明者：福本主任)  
※第2期計画における推進施策について、追加点や変更点を示し、各施策を達成するための具体的な施策展開について説明を行い、意見を聴取した。

### [質疑応答・意見]

会 長：子育て支援包括支援センターマザーズステーション「すてっぷ」について、事業の具体的な内容を知りたい。

事 務 局：保険健康課を窓口として、母子手帳を交付してから、継続して、お子様の成長の支援を行うといった事業であるが、具体的には、ひとつは、母子手帳を交付した際に、支援が必要と解される妊婦に対して、保健と福祉の両分野から支援を行っていくといったものであり、そのほか、県下では本市のみが行っているのだが、産婦検診に対し助成を行い、受診してもらった状況のなかで支援が必要な母子に対し、一定期間、市内の産婦人科で育児面のフォローをしたり、母親のケアを行う産後ケアに助成を行っている。これらの内容をまとめて行っているのが「すてっぷ」であり、妊娠期から産後までひとまとめにして支援を行っていく仕組みとなっている。

委 員：清満公民館で「えがお食堂」というのが展開されているが、子ども食堂とは別の内容のものか。

事 務 局：子ども食堂と地域交流食堂と分類されると思うが、清満公民館の「えがお食堂」は地域交流食堂にあたりと解される。

委 員：公民館が行う事業は、各公民館が決めているのか。公民館主事が熱心だとイベントが多く開催されているような気がする。開催イベントの内容や対象も幅広い。もし、こういったイベントをしてもらいたいと企画を自分たちから要望する場合は、どこに言えばよいのか。

事 務 局：清満地区の「えがお食堂」は、もともとは、地域の高齢者を地域で支えていくためにどのようなことを行ったらよいかという話し合いの中で実施に至ったもので、公民館の運営審議会の意見を公民館主事がそこに積極的にかかわり具体化したという経緯がある。結果、若い世代の方々も参加していったなかで、地域の高齢者からさまざまなことを教わったりするようなイベントも増えた。福祉課が主管となっている子ども食堂とは別の意味合いを持っている。

- 事務局：一般住民の方の公民館に対する事業の要望は、各地域の館長や公民館主事に伝えてもらい、それを運営審議会で審議してもらって事業化につなげるということは可能と思われる。地域の思いを形にしていくというのが公民館の役割でもあると思うので、実施が不可能なこともあるかもしれないが、意見や要望は各公民館へ伝え、相談してみてもらいたい。
- 会長：子ども食堂に関することであれば、この委員の中にも主催している団体の関係者もいるので詳しく聞いてみるとよいと思う。
- 委員：環境整備のことだが、公園等において、夏から秋にかけてマダニの心配をしなくてはならないが、子どもたちは草が生えているところに入りたがる。マダニ対策などはどのようなになっているのか。
- 事務局：市有地については、管理している担当部局の職員または業者に委託して草刈を行ったりして管理に努めている。
- 副会長：発達支援センターについて、具体的に開設に向けて進んでいるのか。
- 事務局：現在、開設に向けて準備を進めており、センター建設計画のある敷地や建物の構造上の課題解決に取り組んでいるところである。
- 副会長：年々、支援を要する児童が増えてきているようなので、保護者も支援側も発達支援センターの開設を望む声が多いと思う。できるだけ早急に開設してもらえたらと思う。
- 事務局：ハード整備に時間を要することから、相談体制などソフト面については、準備が整い次第、可能な範囲から先行して進めていきたいと考えている。それが具体的になったら、市民のみなさんにも広く広報していきたいと考えている。
- 委員：発達支援センター、あけぼの園、わかたけの3つの施設が複合的に1か所にまとまるといった構想は決まっているのか。
- 事務局：そういう方向で行政側は進めている。
- 委員：今日も午前中、あけぼの園でボランティア活動をしてきたが、その話題が出た。今のあけぼの園では、手狭であったりするので、希望をもっておられるようだったので伝えておきたい。
- ほかに、子育て支援関係で、パフィオや土曜塾に関する市民の意見が複数提出されていると思うので、効果検証を行うなどしながら事業を進めていってもらいたい。
- 委員：各種相談体制について、悩みなどをどこに相談したらよいかなど、わかりやすい情報提供を、事業計画実施にあたっては検討してもらいたい。
- 委員：児童が安心して遊べる場所が少ないので、遊び場の確保については、ぜひ積極的に行ってもらいたい。

### 3 閉 会

次回会議開催予定について(事務局)

※2月下旬開催予定であることを周知し、出席依頼を行った。

閉会の挨拶(廣瀬副会長)